

地方公営企業法第 40 条の 2 第 1 項の規定に基づき、業務の状況について公表します。

令和元年 1 1 月

白河地方広域市町村圏整備組合  
管理者 鈴木 和 夫

## 白河地方広域市町村圏整備組合水道用水供給事業の業務の状況について

### 1 平成 30 年度決算の概要

白河地方広域市町村圏整備組合水道用水供給事業会計の平成 30 年度決算が、去る 8 月 7 日に開かれた当組合議会 8 月定例会において認定されましたのでお知らせします。

#### (1) 総括事項

##### イ 給水状況

本年度の年間総送水量は、前年度に比べ 81,219 m<sup>3</sup>減少して 7,493,383 m<sup>3</sup>になりました。

また、有収水量は、前年度に比べ 81,940 m<sup>3</sup>減少して 7,432,119 m<sup>3</sup>となりました。

##### ロ 財政状況

本年度の収益的収入及び支出につきましては、収入が 1,099,960,637 円（税込 1,152,764,121 円）に対し、支出は 892,954,164 円（税込 942,431,582 円）となり、差引 207,006,473 円の純利益となりました。

資本的収入及び支出につきましては、収入が 43,628,000 円（税抜 43,628,000 円）に対し、支出は 408,718,343 円（税抜 405,968,925 円）となり、不足額 365,090,343 円が生じましたが、これは過年度分損益勘定留保資金 186,814,973 円、減債積立金 175,508,808 円、建設改良積立金 17,144 円及び当年度分消費税資本的収支調整額 2,749,418 円で補てんしました。

以上が平成 30 年度水道用水供給事業の概況であります。

なお、今後も安全で安心な水の安定供給を目標に事業を実施するとともに、健全かつ合理的な水道用水供給事業の運営に努めてまいります。

(2) 収支の状況

イ 収益的収支

(単位：千円)

区 分			予 算 額						決算額	地方公営企業法 第26条第2項に よる繰越額	不用額	予算額に比べ決 算額の増減	備 考	
			当 初 予算額	補 正 予算額	予備費支出 流用増減額	地方公営企業法第 24条第3項による 支出・財源	小 計	地方公営企業法第 26条第2項による 繰越額						合 計
収益的 収支	収 入	営業収益	712,853	0	—	0	712,853	—	712,853	712,854	—	—	1	うち仮受消費 税等
		営業外収益	385,168	0	—	0	385,168	—	385,168	385,562	—	—	394	
		特別利益	48,265	0	—	0	48,265	—	48,265	54,348	—	—	6,083	
		計	1,146,286	0	—	0	1,146,286	—	1,146,286	1,152,764	—	—	6,478	
	支 出	営業費用	847,141	△ 1,667	0	0	845,474	0	845,474	833,121	0	12,353	—	うち仮払消費 税等
		営業外費用	107,634	0	1,680	0	109,314	0	109,314	109,311	0	3	—	
		特別損失	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	—	
		予備費	5,000	0	△ 1,680	0	3,320	0	3,320	0	0	3,320	—	
		計	959,776	△ 1,667	0	0	958,109	0	958,109	942,432	0	15,677	—	

ロ 資本的収支

(単位：千円)

区 分			予 算 額						決算額	翌年度 繰越額	不用額	予算額に比べ決 算額の増減	備 考	
			当 初 予算額	補 正 予算額	流用増減額	小 計	地方公営企業法 第26条による繰 越額	継続費遞 次繰越額						合 計
資本的 収支	収 入	企業債	49,400	△ 12,300	—	37,100	0	0	37,100	37,100	—	—	0	
		出資金	6,528	0	—	6,528	0	0	6,528	6,528	—	—	0	
		計	55,928	△ 12,300	—	43,628	0	0	43,628	43,628	—	—	0	
	支 出	建設改良費	49,492	△ 12,373	0	37,119	0	0	37,119	37,117	0	2	—	うち仮払消費 税等
		企業債償還金	371,602	0	0	371,602	0	0	371,602	371,601	0	1	—	
	計	421,094	△ 12,373	0	408,721	0	0	408,721	408,718	0	3	—	2,749	

※資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額365,090千円は、過年度分及び当年度分損益勘定留保資金、減債積立金、建設改良積立金及び当年度分消費税資本的収支調整額で補てんした。

## (3) 損益計算書 (単位：千円)

区 分	金 額
営業収益	660,050
営業費用	818,101
営業利益	△ 158,051
営業外収益	385,562
営業外費用	74,853
経常利益	152,658
特別利益	54,348
特別損失	0
当年度純利益	207,006
前年度繰越利益剰余金	0
その他未処分利益剰余金変動額	175,526
当年度未処分利益剰余金	382,532

## (4) 貸借対照表 (単位：千円)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
1. 固定資産	14,259,884	3. 固定負債	2,666,528
(1)有形固定資産	8,365,094	(1)企業債	2,616,528
(2)無形固定資産	5,894,790	(2)引当金	50,000
2. 流動資産	528,204	4. 流動負債	393,288
(1)現金預金	507,132	(1)企業債	374,736
(2)未収金	0	(2)未払金	14,041
(3)貯蔵品	21,072	(3)引当金	4,511
(4)前払金	0	(4)その他流動負債	0
(5)その他流動資産	0	5. 繰延収益	10,234,785
		(1)長期前受金	18,276,745
		(2)収益化累計額	8,041,960
		6. 資本金	1,018,148
		7. 剰余金	475,339
		(1)資本剰余金	55,653
		(2)利益剰余金	419,686
資産合計	14,788,088	負債資本合計	14,788,088

## (5) 企業債の状況 (単位：千円)

区分	前年度末残高	平成30年度		年度末残高
		借入高	償還高	
企業債	3,325,766	37,100	371,602	2,991,264

## 2 令和元年度事業の状況（令和元年9月30日現在）

## (1) 事業の概要

当組合の水道用水供給事業は、白河市、矢吹町、西郷村、泉崎村、中島村及び棚倉町の供給6市町村に対し、1日最大21,310 m<sup>3</sup>（年間7,778,150 m<sup>3</sup>）の水道用水を安全かつ安定的に送ることを最大の目的としていますが、そのため、日常的な浄水場運転維持管理のほか、年次計画に基づいた施設の保守点検や修繕、そして、原水や浄水の水質検査などを行っています。

また、当組合の芝原浄水場では、水道水の放射性物質モニタリング検査を週1回行っていますが、現在の状況は水道水中の放射性物質に係る管理目標値を下回っています。そのほか、原水（浄水場入水）のモニタリング検査を週1回、堀川ダム流入水（堀川・横川）のモニタリング検査を月1回の検査頻度で行っていますが、いずれも管理目標値を下回っています。水道水の過去の検査結果、原水・堀川ダム流入水の検査結果については、当組合ホームページ（用水供給課）にも掲載していますのでご覧ください。

令和元年9月30日現在における事業の状況は次のとおりです。

供給6市町村への水道水の供給状況（本年4月～9月）は、供給水量が3,701,347 m<sup>3</sup>、供給率が約94.9%です。

予算の執行状況は、まず、収益的収支について、用水供給事業収益の予算額1,152,174千円に対しては、料金収入等による404,718千円（35.13%）の執行額となり、用水供給事業費用の予算額963,825千円に対しては、事業経営に伴う動力費、薬品費、施設維持管理費等による116,210千円（12.06%）の執行額となりました。次に、資本的収支について、資本的収入の予算額56,232千円に対しては、出資金による5,232千円（9.30%）の執行額となり、資本的支出の予算額425,829千円に対しては、企業債償還金による186,707千円（43.85%）の執行額となりました。

(2) 経理の状況

令和元年度予算執行状況（R元.9.30現在）

イ 収益的収支

（単位：千円）

区 分		令和元年度 当初予算額	補正予算額	現計予算額(A)	調 定 額 支出負担行為額	執行済額(B)	予算残額	執行率B/A(%)	
収益的 収支	収 入	営業収益	719,454	0	719,454	356,428	356,428	363,026	49.54
		営業外収益	384,455	0	384,455	27	27	384,428	0.01
		特別利益	48,265	0	48,265	48,263	48,263	2	100.00
		計	1,152,174	0	1,152,174	404,718	404,718	747,456	35.13
	支 出	営業費用	857,123	0	857,123	176,499	81,883	775,240	9.55
		営業外費用	101,701	0	101,701	34,327	34,327	67,374	33.75
		特別損失	1	0	1	0	0	1	0.00
		予備費	5,000	0	5,000	0	0	5,000	0.00
		計	963,825	0	963,825	210,826	116,210	847,615	12.06

ロ 資本的収支

（単位：千円）

区 分		令和元年度 当初予算額	補正予算額	現計予算額(A)	調 定 額 支出負担行為額	執行済額(B)	予算残額	執行率B/A(%)	
資本的 収支	収 入	企業債	51,000	0	51,000	0	51,000	0.00	
		出資金	5,232	0	5,232	5,232	5,232	0	100.00
		計	56,232	0	56,232	5,232	5,232	51,000	9.30
	支 出	建設改良費	51,092	0	51,092	12,760	0	51,092	0.00
		企業債償還金	374,737	0	374,737	186,707	186,707	188,030	49.82
		計	425,829	0	425,829	199,467	186,707	239,122	43.85

※現計予算額(A)の内、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額369,597千円は、過年度分及び当年度分損益勘定留保資金、建設改良積立金及び当年度分消費税資本的収支調整額で補てんするものとする。

## (3) 損益計算書 (上期分)

区 分	金 額(千円)
営業収益	330,025
営業費用	349,608
営業利益	△ 19,583
営業外収益	191,924
営業外費用	34,326
経常利益	138,015
特別利益	48,263
特別損失	0
上半期純利益	186,278
前年度繰越利益剰余金	0
その他未処分利益剰余金変動額	0
上半期末処分利益剰余金	186,278

※年度末において一括予算執行を行う長期前受金戻入及び減価償却費のうち、上期分として推定される額を加えて作成。

## (4) 貸借対照表 (上期分)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
1. 固定資産	13,988,365	3. 固定負債	2,666,528
(1)有形固定資産	8,165,983	(1)企業債	2,616,528
(2)無形固定資産	5,822,382	(2)引当金	50,000
2. 流動資産	621,257	4. 流動負債	215,209
(1)現金預金	587,525	(1)企業債	188,029
(2)未収金	2	(2)未払金	557
(3)貯蔵品	20,964	(3)引当金	0
(4)前払金	8,615	(4)その他流動負債	26,623
(5)その他流動資産	4,151	5. 繰延収益	10,042,888
		(1)長期前受金	18,276,745
		(2)収益化累計額	8,233,857
		6. 資本金	1,198,906
		7. 剰余金	486,091
		(1)資本剰余金	55,653
		(2)利益剰余金	430,438
資産合計	14,609,622	負債資本合計	14,609,622

※年度末において一括予算執行を行う固定資産及び繰延収益のうち、上期分として推定される額を加えて作成。

## (5) 企業債の状況

(単位：千円)

区分	前年度末残高	令和元年度		9月末現在残高
		9月末現在借入高	9月末現在償還高	
企業債	2,991,264	0	186,707	2,804,557